

2. 年間街路樹維持管理スケジュール

適正な樹木育成を図るため、年間維持管理スケジュールを踏まえた維持管理を実施する

一般的に街路樹は所定の根鉢で植栽されることから、植栽後直後から自立した状況になることは難しく、根の活着にはある程度の養生期間（1～3年程度）が必要となる。養生管理期間が過ぎると育成・維持管理期間となり、年間スケジュール案として以下のものが考えられる。

育成・維持管理 年間スケジュール（案）

作業種別		月別												頻度	適用	参照頁	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
高 中 木 管 理	剪定	針葉樹	—————												通年可	すそ枝打ち、交通障害の除去など	3
		落葉樹	—————												年1回(夏・冬)		
	補植	針葉樹	●●●●●												必要の都度	凍上が起こる厳冬期は避ける	
		落葉樹	●●●●●														
	倒木処理		—————												〃	8月は台風等、11～12月は冠雪害	
	危険木処理		—————												〃		
	支柱・結束撤去		●●●●●												〃	植栽して2～3年程度経過した樹木は、樹木安定の確認を行った上で撤去を行う	11
	複梢整理		—————												〃		13
	ひこばえ更新		—————												〃		14
	病虫害防除		●●●●●												〃	発生時に行う	16
低 木 管 理	刈込剪定		—————												年1～2回	花木類は開花後、枝透かし、整形、樹勢に応じて実施	
	施肥		—————												年1～2回	9・10月	
	補植		●●●●●												必要の都度		
	冬囲		—————												年1回	4月は取外し、11月は取付不可。縄など光を通すものが可	
全 般	除草		—————												年2～3回	秋は野鼠防止対策	9
	清掃		—————												年1～2回		
	灌水		●●●●●												必要の都度		
	巡回点検		—————												月1～2回		

————— 可能な時期あるいは望ましい時期
 ●●●●● 可能な時期で、必要の都度実施する

厳冬期における成木の植栽は、根鉢を大きく掘り取り（根系と土壌を離れさせず、土壌微生物群を温存させる）予め掘った植え穴へ植栽するのが望ましい。植栽時期は1月～3月が望ましい。手法として凍土方式がある〔環境林づくり研究所斎藤新一郎氏論文掲載〕